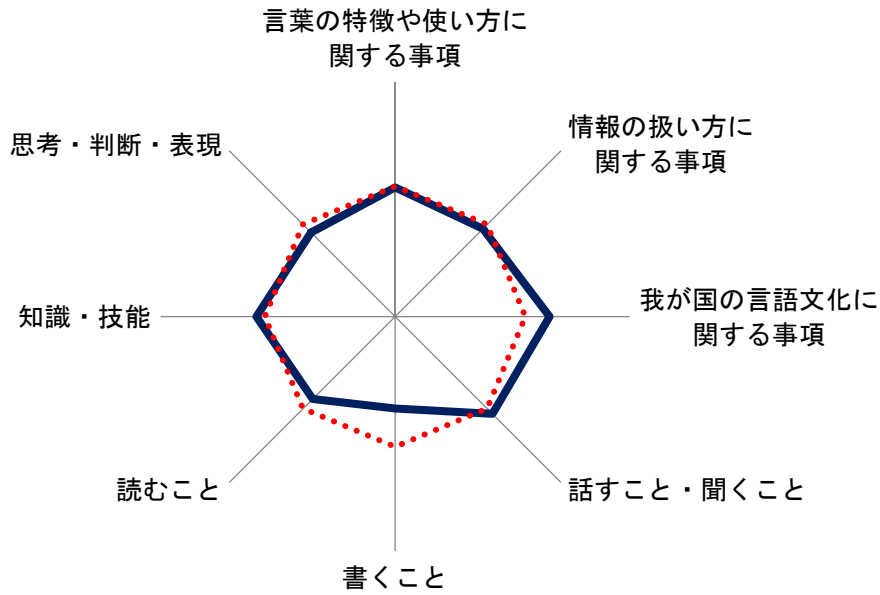


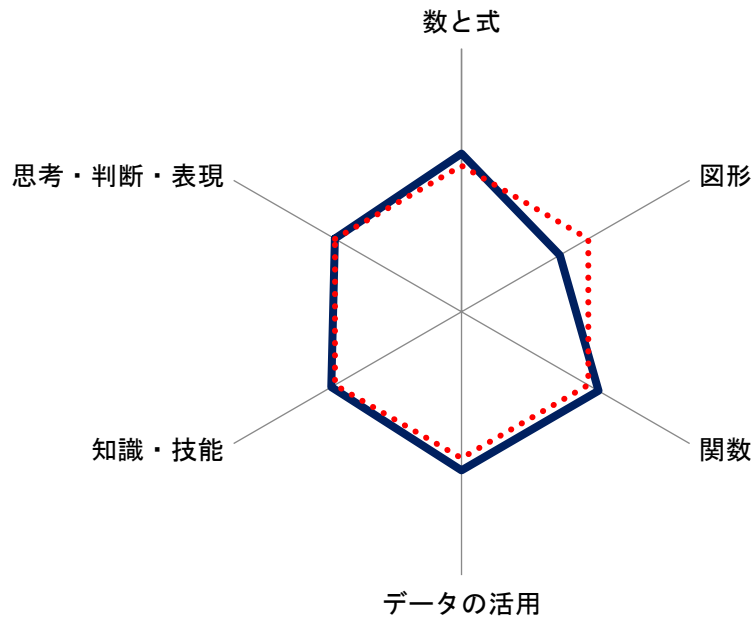
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 町平均
..... 全国平均

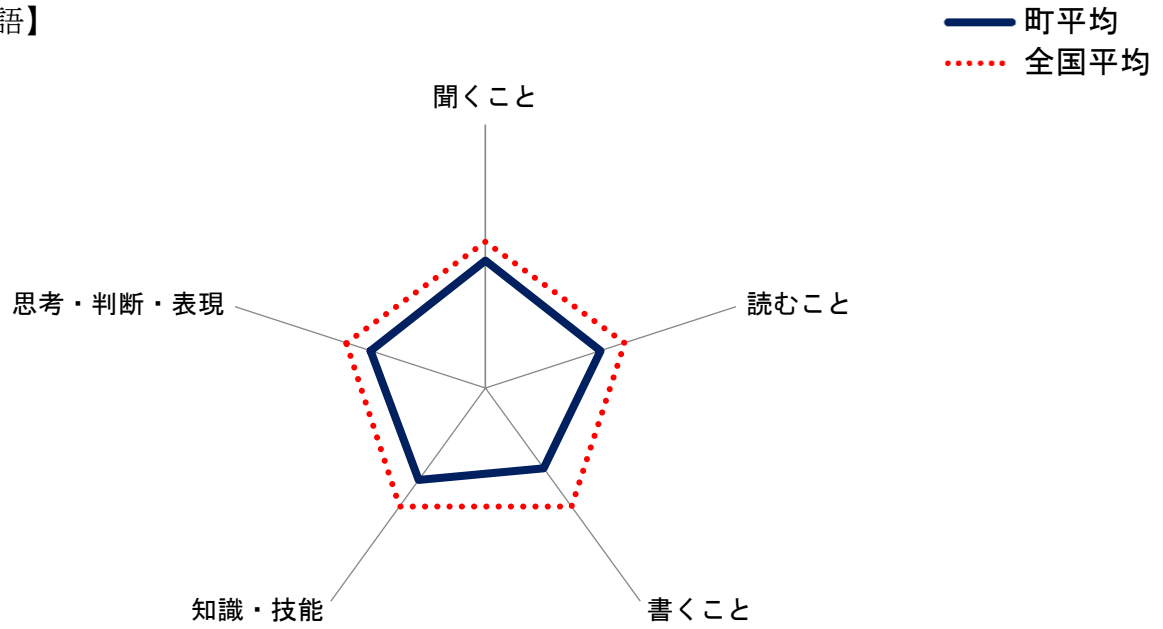


【数学】

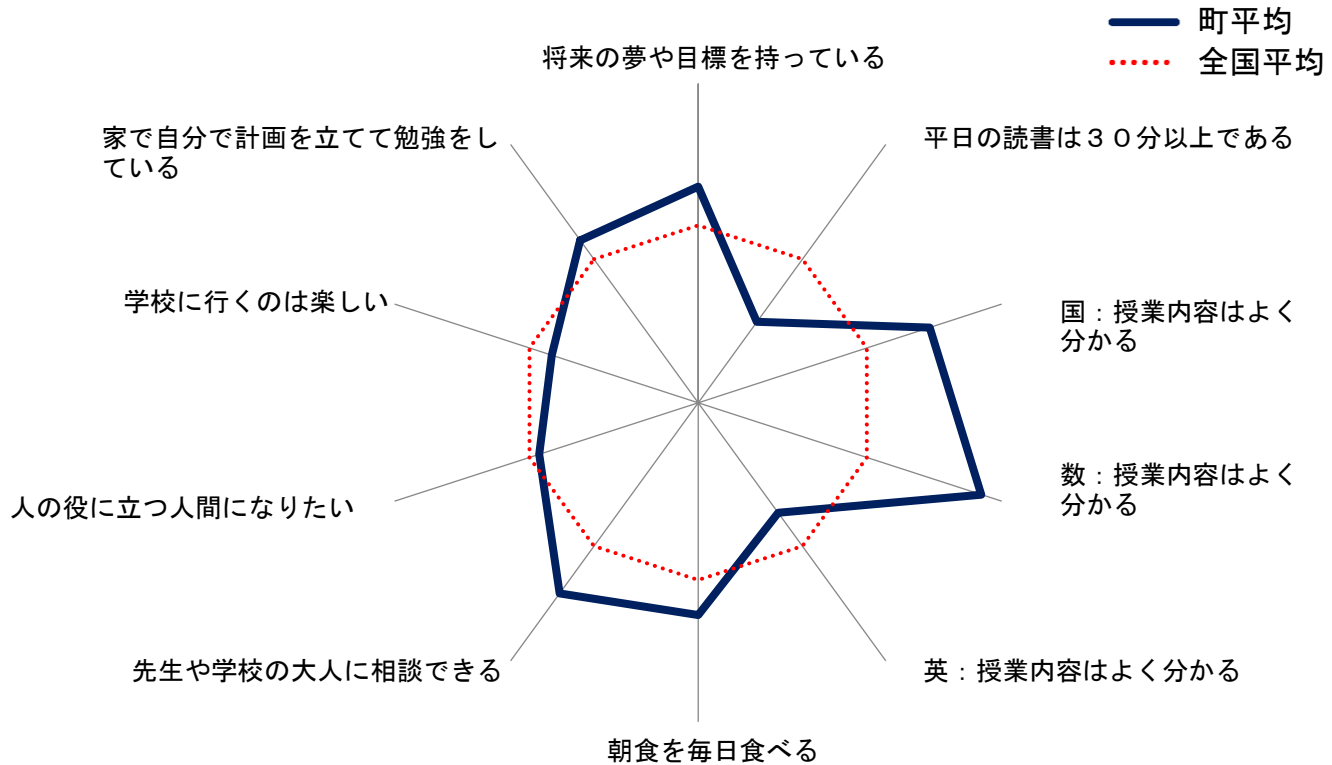


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【英語】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「我が国の言語文化に関する事項」、数学の「数と式」「データの活用」の項目が全国平均を上回っている。一方、国語の「書くこと」、数学の「図形」、英語の「書くこと」の項目が全国平均を大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。引き続き、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続するとともに、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かし、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

生徒質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」、国語、数学の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を上回っており、生徒の実態に即した授業改善やキャリア教育の推進の成果がうかがえる。一方、英語の「授業内容はよく分かる」、「平日の読書は30分以上である」の項目が全国平均を大きく下回っている。今後は、全国平均を下回った要因を詳細に分析し、読書活動のより一層の充実に向けた取組を重ねるとともに、生徒にとって「分かる、できる」を実感できる授業となるよう、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善をより一層推進することが望まれる。